

銀漢亭日録



伊藤伊那男

11月22日(土)

▼昼、日暮里本行寺「第七回一茶・山頭火俳句大会」の選者。村上護先生の墓に詣でる。欠席だと思われていた金子兜太先生が来られ控え室で私が隣。兜太氏と話をさせてもらうのは初めて、九十五歳とは思えぬ気迫あり。選句も早い。志乃多寿司の弁当もたいらげる。十七時から、洋食屋で打ち上げ

23日(日)

▼夕方から久々家族集合の日。ところが手配した筈の河豚が来ない。桃子の注文忘れ。急きよスキヤキに変更し、宮澤と買い出し。中国産、アメリカ産の松茸を沢山手に入れる。杏つわりはほぼ終わり気味。お盆以来の会食。杏に年賀状の印刷頼む。

26日(水)

▼発行所十二月号発送。一月号選句稿渡し、二月号選句稿受ける。店、「炎環」吉田悦花さん句会、六人。

28日(金)

▼「雛句会」十六人。小島健さん。

29日(土)

▼一月号用エッセイ、「纏句会」作句など。「門」同人会に発行所貸出日であることを思い出し慌てて店へ向かう。と、新宿駅で妻の親友、後藤さんに声を掛けられる。何年振りか。と、今度は「雲の峰」同人会長、高野清風さんの妹さんから声を掛けられる。急いでいるこういう日に限って……。店、「金星句会」あと八人。次女の親友、ななえちゃん一家。全体解散。

12月4日(木)

▼昨日、風邪で学校を休んだ龍正君とババがクリスマスツリーの飾り付け完成。見事。「纏句会」前にアメ横に寄り、伊那の従兄弟に数の子とスルメを送る。年末恒例。「纏句会」十一人。あと鯖煮、牡蠣フライ、題にちなんで、せい子蟹、握り。酒は山形「ばくれん」。終わってアルカディア市ヶ谷へ急ぎ、藤田直子主宰「秋麗」創刊五周年祝賀会。またまた井上弘美さんと隣席。帰宅して娘夫婦と小酌。

20日(土)

▼浦賀駅、十一時集合。二十八人。忘年句会。雨の中、西叶神社、愛宕山、渡し船で東叶神社。駅前で昼食。八人ほどで九州屋に入り、鰯の刺身、おでんなどで酒盛りとなる。横浜中華街に出て「揚州飯店」にて句会と忘年会。あと有志で「馬さんの店」で二次会。風邪を抑え抑え。

21日(日)

▼十三時、イラストレーターの長友啓典、「女性自身」編集長・田辺さん、りえさん、あろはちゃん来て忘年会。私も参加。料理は自由ヶ丘でレストランを開くテツ君の出張。二十一時過ぎまで。酔って寝てしまふ。

22日(月)

▼ヘアメイクの中川さん来宅。カットしてもらう。連休なかばにて店閑散。

23日(火)

▼天皇誕生日。朝から二月号の原稿書き進める。十八時、区民ホールにて孫二人の通うピアノ教室の発表会。十九時半に戻り、杏一家迎えて家族の忘年会。愛媛の河豚取り寄せ。高部さんの鯛も。杏さん三人目も男の子だと。これで孫は女子二人のあと続けて男子五人ということに。

24日(水)

▼二月号の原稿追い込み。二日間で書いたコピー取ると二十四枚。書いた、書いた、店、クリスマススイブに行き場のない人達が七、八人、閑散。

25日(木)

▼朝五時、桃子と孫達、グアム島へ出発。宮澤は伊集院杯のゴルフに出て明日出発と。彗星集選評書き上げて、二月号の原稿終了。高幡不動・川澄大僧正より、「銀漢」への基金頂戴する。店、井月本出版を祝うとて二十名ほどの方が集まってくる。誠に嬉しい会。

26日(金)

▼風邪なかなか治らず。「白熱句会」(小山徳夫、水

6日(土)

▼「銀漢亭 Oh! つごもり句会」(超結社句会) 三十七人集合。兼題五句。あと三句、二句と席題句会。二十時まで。幹事の朽木直さんなどと八人で「大金星」(波郷賞受賞の堀下翔、十九歳。新人賞奨励賞・今泉礼奈、二十歳など)。

7日(日)

▼「春耕同人句会」あと「春耕賞」選考委員会。「炙谷」にて忘年会。あと、杉阪大和、武田禪次さんと喫茶店にて「銀漢賞」の一次予選。

8日(月)

▼六時起き、「銀漢」一月号の校正。銀杏の黄落の道を遠回りして駅へ。店、「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十一人。今回は、野見山朱鳥と。京都の悦子さん出張で東京へ来たとして教えずと。

12日(金)

▼ニューヨークの武田真理子さん帰国中とて、禪次さんがお孫さん二人と共に挨拶に寄ってくる。袖口満さん久々。フジテレビのビジネスノート貰う。毎年、愛用しているもの。今週は全体店閑散。

13日(土)

▼「銀漢本部句会」選挙前日にていつもの会場使えず、全国家電会館。あと「花の舞」にて忘年会。元群馬大学学長、元上武大学学長の鈴木踏青子さんの瑞宝重光賞受賞に乾杯。

14日(日)

▼十三時、赤坂の喫茶店にて武田編集長、杉阪大和さんと「銀漢賞」最終選考会。あと、「うち田」にて皆川丈人、文弘さんとの忘年会。河豚料理。

16日(火)

▼「銀漢萩句会」選句へ。あと、十四人来店して忘年会。歌なども出て楽しそう。

18日(木)

▼「銀漢句会」あと十八人。多くの人と「よいお年を!」の挨拶に変わる。客の高部務さんから玄界灘の一本釣りの鯛到来。これは味が違う。

19日(金)

▼「漂泊の俳人井上井月」刷り上がりの見本二冊届く。二月号の選句など急ぐ。二十六日迄に全て終わら

27日(土)

内慶大、藤田直子、佐怒賀正美、井上弘美さん)。本日にて本年の営業終了!

28日(日)

▼五時起き、七時過、品川発新幹線。奈良駅十一時。バスにて浄瑠璃寺、池邊の最中。岩船寺へ歩く。寒い。ホテルフジタ奈良で一休みして、「一条」にて食事と五句出しあと、七、八人でバー。風邪、なかなかひかず。

29日(月)

▼六時半、ロビーに集合。小降りの雨の中、春日大社へ。御造替の年。「ガスト」にて朝食と五句出し句会。披露場所無く、ひそかにホテルのツインルームに何と二十三人が入り披露。宗教団体でもこれほどのことはなさそう。阪西敦子、相沢文子さんと京都に出て、大谷祖廟の妻の実家の墓、分骨廟をお参り。東山周辺を散策。新京極の「スタンド」で軽く飲み、十七時、「しん」で和田ちゃん、川村悦子さんとの恒例の忘年会。これに敦子、文子、京都に帰省中の黒岩徳正君入れて六名。グジ旨し! あと、和田、悦子とホテルのラウンジで二次会。からすま京都ホテル泊。

30日(火)

▼十一時まででゆっくり過ごす。風邪治りつつあり。大丸の「イノダコーヒー」にて朝食。やはりこのコーヒー! 錦市場で正月用の食品買い出し。京都から「はるか号」にて関西空港まで寝る。空港でも眠る。飛行機でも眠る。グアム着、夜中一時。桃子迎えに来てくれて、レオパレスリゾートへ。